書籍仕入れご担当者　様【ジャンル／日本史・現代史】
平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。
ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

# 忘却の引揚げ史

## 新装版《泉靖一と二日市保養所》

引揚げ問題の原点

下川正晴◉著

定価　2200円+税【3月下旬刊】
四六判・340頁　ISBN978-4-86329-328-1 C0021

## 戦後日本の再生は、ここから始まる

中絶施設・二日市保養所（福岡県筑紫野市）は、忘却された「戦後史の穴」である。跡地に立つ「仁」の慰霊碑が、その記憶を静かに語る。

二日市保養所の「水子供養祭」は、毎年5月14日午前10時から、保養所跡地の特別養護老人ホーム「むさし苑」駐車場（福岡県筑紫野市湯町二）で、行われている。ぜひご参拝を。

**◆満州などでの性暴行被害者数百人が、引揚げ港・博多近郊で治療を受けた。女性や孤児らを支えた献身的行為に光をあてた労作。**

**◆インカ遺跡を発掘した文化人類学者・泉靖一を、「災害人類学」の先駆者として再評価する。**

**・目次から・**

第1章「二日市」からの旅……福岡市の無関心
第2章　二日市保養所の真実……『水子の譜』の衝撃
第3章　証言と「問診日誌」……敗者の沈黙
第4章　泉靖一という男……植民地二世・泉靖一
第5章　泉靖一の闘争……敗戦前夜の予言／京城帝国大学
第6章　聖福寮の山本良健……引揚孤児施設「聖福寮」
第7章　石賀信子と保母たち……引揚港・佐世保
第8章　映像の力・上坪隆……「引揚港・博多湾」
第9章　次世代へ語り継ぐ……最大の戦争犠牲者
◉年表で見る「引揚港博多」の戦前戦後

〈著者の横顔〉 **下川正晴**（しもかわ・まさはる）
1949年鹿児島県生まれ。毎日新聞西部本社、ソウル支局、論説委員等を歴任。韓国外国語大学言論情報学部客員教授などを経て、近現代日本史、韓国、台湾、映画を中心に取材中。著書に『私のコリア報道』論文「終戦時の陸軍大臣・阿南惟幾、遺族が語る自決七〇年目の真実」他がある

【FAX: 092-726-9886】

地方小出版流通センター取扱品

書店・帖合

ご担当者様　様

| | |
|---|---|
| 冊 | 《新装版》忘却の引揚げ史　泉靖一と二日市保養所　下川正晴　定価　2200円+税　ISBN 978-4-86329-328-1 |
| 冊 | 占領と引揚げの肖像BEPPU　1945-1956　下川正晴　定価　2200円+税　ISBN 978-4-86329-203-1 |
| ご注文日［　／　］ | 弦書房 Genshobo　〒810-0041　福岡市中央区大名2-2-43　ELK大名ビル301　TEL:092-726-9885　FAX:092-726-9886　URL http://genshobo.com/　e-mail　books@genshobo.com |